日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2018. 4.30
No.18-010

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

中期経営計画で追加的経営資源に
①特別成長投資枠 500 億円
M&A 的なもので、
一気に成長を目指すイメージ
②年金財政基盤強化 800 億
③配当増と自社株買いも

3 月 20 日の春闘団体交渉で、中期経営計画について労使で議論しています。

組合：中期ローリングプランには、「飛躍的な成長目指すための『特別成長投資枠』として 500 億円が計上されているが、具体的案件は有るのか？

小田人材本部長：財務戦略は柱を三つ立てた。そのうちの一つが『特別成長投資枠』で、例えば M&A など会社を買うみたいなレベル感の話です。我々の事業は、1 兆 4500 億円売り上げが有るが、売り上げ 1 千億円の会社を買えば、1 千億円増える。そんなイメージ感である。一例として申し上げた。社外秘で言えない。

組合：本業以外に莫大な出資をする事は、かっての大失敗を彷彿させる。それとは明確に違うのか。

人材本部長：過去失敗している例はたくさんあって、そこから学ぶべきものはたくさんある。過去と同じ事を繰り返すのではない。

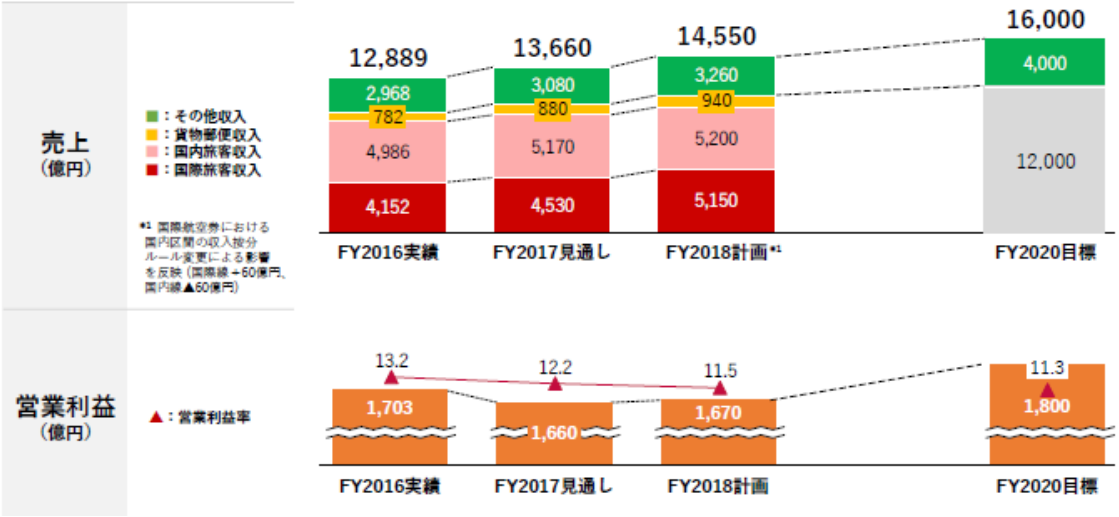
組合：しっかり職場に説明して頂きたい。

詳細は乗員速報 65-239

一言:過去の失敗例を明確にしてもらいたいですね！

（2018 年 2 月 28 日発表：中期経営計画より）

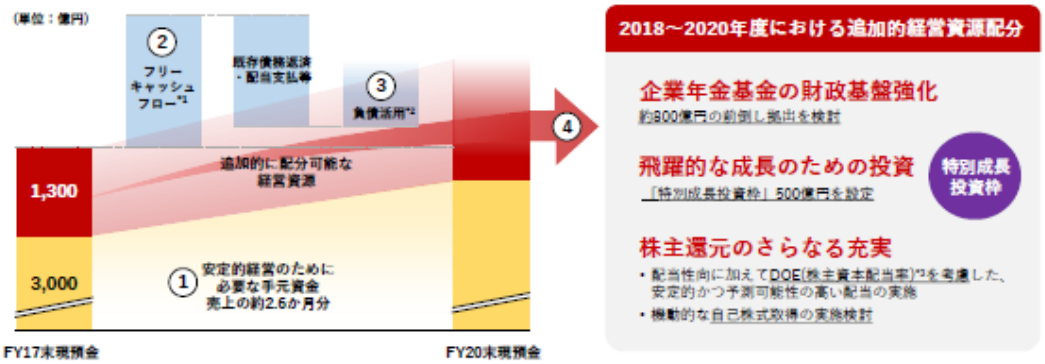
新たな価値を基盤に、2021年以降の次なる成長へ繋げます



強固な財務体質と高い資本効率を両立しつつ、企業価値向上のために戦略的な経営資源配分を行います

経営資源の配分

① 安定的経営のために必要な手元資金の水準は、売上の約2.6ヶ月分を維持し、超過額を追加配分可能額と認識
② 成長投資を積極的に推進し、フリーキャッシュフローを最大限創出
③ 成長投資に関しては有利子負債も活用し、資本効率を向上
④ 創出した追加的経営資源を戦略的に配分



*1 フリーキャッシュフロー（3年間累計）＝営業キャッシュフロー－投資キャッシュフロー
*2 新規負債活用の3年間累計額（新規調達－新規返済分の返済）
*3 株主の持ち分に対する配当利回りを示す
DOE（株主資本配当率）＝配当金総額／自己資本額

お手盛り賞与
人員不足で事業計画は拡大出来ず
「止むを得ず解雇」の整理解雇者は
職場に戻さない
安全運航に対する懸念も

皆さん
2018 年も
カンパ支援・取り組み参加
宜しくお願い致します
OB 乗員有志の会：カンパ振込先

今後の日程

＊宣伝行動・各地集会：私たちはあきらめない!!!
原告団 HP 日程参照

＊山口 宏弥氏 著書紹介

「安全な翼を求めて」　　アマゾン書評

・詳細は、枠内をクリックして御覧下さい。